

2002年7月24日

[参考資料・リリース抜粋日本語訳]

ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス 持続する高成長 2002年度上半期、営業利益が2桁の伸びを達成

- 2002年度上半期におけるノバルティス グループ全体の売り上げは、現地通貨ベースで13%増（スイスフランベースで6%増）を達成。
- 医薬品の売り上げは、現地通貨ベースで15%増（スイスフランベースで9%増）で、すべての地域において高成長は持続し、循環器領域およびオンコロジー領域が牽引力に。
- 米国での医薬品セクターの売り上げは19%増で、医薬品セクター全体の売り上げの43%、グループ全体の売り上げの28%を占める。
- 営業利益は14%増加し、為替の影響にもかかわらず、営業利益率は改善。
- 卓越した業務パフォーマンスと、非常に困難な金融市場にもかかわらず、財務業績が好調だったことにより、純利益は3%増。
- 1株当たり利益は5%増。

主要連結財務データ
上半期 (1~6月)

	2002年 上半期			2001年 上半期			増減 %	
	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	スイスフラン ベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売り上げ	16 254	13 003		15 267	12 214		6	13
営業利益	3 957	3 166	24.3	3 480	2 784	22.8	14	15
純利益	3 848	3 078	23.7	3 729	2 983	24.4	3	
1株当たり利益/ADS (米国預託株式 (スイスフラン・円))	1.51	120.8		1.44	115.2		5	
社員数 (人)	73 937			70 166			5	

第2四半期 (4~6月)

	2002年 第2四半期			2001年 第2四半期			増減 %	
	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	スイスフラン ベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売り上げ	8 287	6 630		8 043	6 434		3	12
営業利益	2 135	1 708	25.8	1 935	1 548	24.1	10	12
純利益	2 060	1 648	24.9	2 244	1 795	27.9	-8	
1株当たり利益/ADS (米国預託株式 (スイスフラン・円))	0.81	64.8		0.87	69.6		-7	

換算レート：2002年 1スイスフラン = 80円 2001年 1スイスフラン = 80円

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1スイスフラン = 80円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。

パーゼル発、2002年7月22日

ノバルティスの会長兼最高経営責任者であるダニエル・バセラは、本日発表された2002年度上半期業績について、次のように述べています。「不安定な経済事情と危機的な業界環境にもかかわらず、イノベーションと持続する成長への戦略的な集中により、引き続き堅調な業績を達成することができました。私たちの製品の品質と、主力ブランドと新製品の上市に投資を集中することで、ノバルティスは全世界でマーケットシェアを拡大しました。長期にわたり、私たちの製品パイプラインの競争力を維持するために、ノバルティスはゲノミクスを中心とする新しい技術の恩恵によくするべく、研究分野への投資をさらに強化していきます」

グループ全体の売り上げは13%増の163億スイスフラン

上半期のグループ全体の売り上げは現地通貨ベースで13%増（スイスフランベースで6%増）、第2四半期では現地通貨ベースで12%増（スイスフランベースで3%増）となりました。全体として、医薬品セクターのダイナミックな成長の持続とジェネリックセクターでの堅調な売り上げ、そして米国でのマーケットシェアの拡大が、売り上げ成長を牽引しました。売り上げ増は、主に販売量の増加によるものです（11%）。価格の上昇と買収の業績への影響の比率は、それぞれ1桁台に留まりました。また、スイスフラン高により、7%の為替差損が生じました。

営業利益は14%増の40億スイスフラン

持続的な生産性向上と製品ミックスの改善により、売上原価の対売り上げ比率は1%減少し、24%となりました。一般管理費は売り上げの4%に削減され、前年上半期比1%減となりました。イノベーションを戦略の中心としたことより、研究開発費は4%上昇し、対売り上げ比の13%を維持しました。販売費は、新製品上市と主力製品の売り上げ増大をサポートするために、売り上げの伸びに伴って増加しました。その結果、上半期の営業利益は14%増と、売り上げの伸び率を上回る成長を遂げ、40億スイスフランを記録し、営業利益率は前年上半期の22.8%から24.3%に改善しました。

純金融収益は6億8,000万スイスフランを達成

非常に厳しい環境下において、主として為替ヘッジの成功の結果、ノバルティスの純金融収益は魅力的なレベルを維持しました。しかしながら、昨年の上半期には2001年全体の純金融収益の89%を出しました。第2四半期だけでも69%を出していたのに比べると、今期は前年上半期比で29%減となりました。

純利益は3%増で38億スイスフランを達成

第1、第2四半期の売り上げと営業パフォーマンスの好調により、上半期の純利益は38億スイスフランを達成しました。税金は、前年上半期同様に税率17%で、7億9,000万スイスフランとなりました。

人材

グループ全体として、上半期で社員は2,800人増加し、74,000人となりましたが、そのうち200人は医薬品セクターの研究開発部門、1,900人は営業部門でした。これらの社員増の54%は米国、26%はヨーロッパにおけるものでした。米国の医薬品セクターにおけるフィールドフォースは、「エリデール」などの新製品の上市を推進するために、5,900人にまで増強されました。これにより、医薬品セクターのグローバル全体でのフィールドフォースは16,700人となっています。

2002年度の見通し(予想しがたい要因を除く)

ノバルティスは、現在の成長力は今後も持続するものと予測しています。医薬品セクターの売り上げは、主要ブランドの好業績と新製品の上市や適応追加などに支えられ、現地通貨ベースで10%前後の成長が見込まれます。

グループ全体の営業利益率は、ほぼ昨年レベルを維持するものと見られています。今年期待される、米国での過敏性腸症候群治療薬「ゼルノーム」の上市に向けた投資により、医薬品セクターの営業利益率は2001年に比べ、わずかに減少するものと予想されます。

スイスフランに対する米ドル安および円安が継続すると、ノバルティスの財務業績は大きな影響を受けることとなります。しかし、今年度の米ドルおよび日本円における取引エクスポージャーについては、すでに十分にヘッジがなされているため、2002年度での影響は少ないと見込まれます。

現状の市場環境では、純金融収益について予想することは非常に困難ですが、昨年の記録的な高レベルよりはやや下回るものと予想されます。

予想しがたい要因を除けば、営業利益と純利益はともに昨年レベルを上回ると見込まれます。

セクターおよびビジネスユニット別業績

上半期

	2002年上半期		2001年上半期		増減	
	百万 スイスフラン	億円	百万 スイスフラン	億円	スイスフラン へース (%)	現地通貨 へース (%)
医薬品	10 546	8 437	9 689	7 751	9	15
ジェネリック	1 282	1 026	1 121	897	14	22
OTC	1 163	930	1 214 ¹	971	-4	0
アニマルヘルス	512	410	490	392	4	10
医療用栄養食品 ²	760	608	777 ¹	622	-2	2
乳幼児用栄養食品	1 093	874	1 095 ¹	876	0	5
チバビジョン	898	718	881	705	2	8
コンシューマーヘルス	5 708	4 566	5 578	4 462	2	8
合計	16 254	13 003	15 267	12 214	6	13

第2四半期

	2002年第2四半期		2001年第2四半期		増減	
	百万 スイスフラン	億円	百万 スイスフラン	億円	スイスフラン ベース (%)	現地通貨 ベース (%)
医薬品	5 393	4 314	5 151	4 121	5	14
ジェネリック	636	509	593	474	7	17
OTC	592	474	613	490	-3	4
アニマルヘルス	260	208	250	200	4	13
医療用栄養食品 ²	385	308	404	323	-5	1
乳幼児用栄養食品	551	441	574	459	-4	7
チバビジョン	470	376	458	366	3	12
コンシューマーヘルス	2 894	2 315	2 892	2 314	0	9
合計	8 287	6 630	8 043	6 434	3	12

換算レート：2002年 1スイスフラン=80円 2001年 1スイスフラン=80円

¹ 小売業者に対する一部の売上インセンティブと値引きの区分変更により、計算し直した。2001年上半期においてOTC、医療用栄養食品、乳幼児用栄養食品の売り上げは、それぞれ5,900万スイスフラン、2,800万スイスフラン、1億1,000万スイスフラン減少しており、これに連動して販売費も減少している。

² 健康・機能性食品を含む。

医薬品

売り上げ

2002年度上半期において医薬品セクターの売り上げはダイナミックな成長を遂げ、現地通貨ベースで15%増（スイスフランベースで9%増）で、105億スイスフラン、第2四半期では現地通貨ベースで14%増（スイスフランベースで5%増）を達成しました。オンコロジー領域と循環器領域でのフランチャイズの拡大が、引き続き売り上げを牽引し、特に、「ディオバン」「ロトレル」「レスコール」「サンドスタチン」「グリベック」「ゾメタ」が大きく貢献しました。

さらに「ビスダイン」と最近成功裏に上市された「エリデール」などの新製品が、成長の新たな推進力となりました。米国における上半期の売り上げは19%増加し、また日本では薬価改定の影響があったにもかかわらず、堅調な業績が報告されました。ラテンアメリカ地域は、アルゼンチンとブラジルにおける経済不況によりマイナスの影響を受けました。

営業利益

上半期の医薬品セクターの営業利益は、売り上げの拡大、製品ミックスの刷新、生産性の向上の結果、13%増の31億スイスフランを達成しました。研究開発費は、新しい研究戦略とプロジェクトを開発の最終段階に推進するために、5%増加しました。マーケティングおよび営業への投資は、米国における「エリデール」の上市の推進と、フィールドフォースの拡大（現在5,900名）のために、対売り上げ比が若干増加しました。売上原価は、製品ミックスの刷新と生産性の向上により、1.1%とわずかに改善し、対売り上げ比が14.8%となりました。結果として、営業利益率は昨年上半期より1%改善し、28.9%となりました。

ハイライト

プラマリーケア

上半期、高血圧症治療薬「**ディオバン/コディオバン**」の売り上げは、引き続きダイナミックに成長し(69%増、米国:82%増)、13億スイスフランを達成しました。米国において、アンジオテンシン受容体ブロッカー(ARB)カテゴリーでのリーディングポジションをさらに強化し、マーケットシェアを拡大しました。米国では、高用量および新たな剤型として錠剤も発売され、患者さんと医師にフレキシブルでより幅広い治療の選択を提供しています。

高血圧症治療薬「**ロトルル**」(米国:46%増)は、米国におけるアムロジピンのカテゴリーでの新規処方シェアを拡大し、ノバルティスの2番目に大きな成長の牽引力となりました。また、米国では、新たな製剤(10mgアムロジピン+20mgベナゼプリル)が承認を取得し、治療のオプションが拡大しています。

高コレステロール治療薬「**レスコール/ローコール**」の売り上げは、XL錠(徐放性製剤)の貢献と、優れた安全性と有効性を有することが証明されたことにより、前期より顕著な成長を遂げました(30%増、米国:30%増)。また、「レスコール/ローコール」を投与された患者群において、主要心イベントのリスクが有意に低下することが、画期的な臨床試験であるLIPS(Lescol Intervention Prevention Study)により証明され、6月には、その結果がJAMA(Journal of the American Medical Association)に発表されました。

抗真菌薬「**ランソール**」の米国での売り上げは、2001年末の米国での在庫増加の影響と、真菌症市場の縮小により減少しました(3%減、米国:15%減)。

最近上市の新製品および承認の進捗

湿疹の治療薬である新しい非ステロイド性クリーム「**エリデール**」が米国で上市され、さらに、6つのマーケットで承認を取得しました。「エリデール」は、最初の上市からわずか4ヵ月以内で5,000万スイスフランの売り上げを達成し、患者さんと医師の満足度において高い評価を得ています。すでに米国では、湿疹治療の局所製剤としては最も多く処方される製品となっています。

疼痛治療薬「**Prexige**」は、ノバルティスで開発中のCOX-2阻害薬で、今年末までには米国とEUにおいて申請される予定です。世界で最大規模の関節リウマチの臨床試験“TARGET”が順調に進行しており、2004年半ばには結果が期待されています。

新規のアレルギー性ぜん息治療薬「**ゾレア**」は、オーストラリアで初めて承認を取得しました。パートナーであるジェネンテック社と共に、ノバルティスは追加データを米国(今年末)とEU(来年末)に提出できる見込みです。これについては、重篤な患者を対象とした新たな臨床試験が、今年初めに米国とヨーロッパでスタートしました。「ゾレア」は、IgE抗体に対するモノクローナル抗体で、ノバルティス、ジェネンテック社およびタノックス社の3社で共同開発しています。

がん領域

ノバルティスのオンコロジー事業部門の売り上げは、現地通貨ベースで28%増(スイスフランベースで22%増)と堅調な成長を記録し、マーケットシェアを拡大し、グローバルの

オンコロジー市場で第3位までランクアップしました。

慢性骨髄性白血病（CML）および消化管間質腫瘍（GIST）の治療薬「**グリベック**」は、引き続き予想を上回る成長を遂げ、患者さんに他に例のないほど大きな効果をもたらすことができました。最初の主要市場での上市からわずか13ヵ月後の上半期の売り上げは、4億1,800万スイスフランを達成しました。米国において、総処方数は今年上半期で40%も増加しました。稀な、生命を脅かす疾患であるGISTの治療への適用は、すでに米国やEUを含む20ヵ国以上で承認されています。

5月に開催された米国がん治療学会において、「**グリベック**」に関する71もの演題が発表され、「**グリベック**」がCMLにおける第一次治療の標準薬として提唱されました。6月末には、米国において、CMLの初発患者への適応を可能にするための適応症の変更を申請しました。また6月には、その治療の革新性が評価され、国際的に権威のある国際ガリエン賞を受賞しました。

悪性腫瘍の骨転移治療薬「**ソメタ**」は「**アレディア**」の後継薬で、より簡便で効果が高く、上半期には3億200万スイスフランを達成し、米国で最も有力なビスフォスフォネートとなりました。乳がんや前立腺がん、多発性骨髄腫、その他の固形がんなどの悪性腫瘍の骨転移治療薬として、2月に米国で承認され、今年下半期にはヨーロッパでの承認が期待されます。

悪性腫瘍の骨転移治療薬「**アレディア**」の売り上げは、いくつかの市場における複数のジェネリックの参入により減少しました（53%減、米国：70%減）。

ホルモン過敏性の閉経後の進行性乳がん治療薬の第1選択薬「**フェマーラ**」は、世界的にアロマターゼ阻害薬市場が急速に拡大しているのを反映して、売り上げは56%増（米国：104%増）の1億3,800万スイスフランを記録しました。

末端肥大症およびカルチノイド症候群の治療薬「**サンドスタチン**」は、簡便で、1ヵ月1回投与の徐放性製剤LARの成功によって、売り上げは25%増（米国：39%増）の4億8,700万スイスフランを達成しました。

眼科領域

眼科領域は、主に「**ビスタイン**」の好調により、現地通貨ベースで13%（スイスフランベースで7%増）の売り上げ増を記録し、昨年上半期の売り上げを上回りました。

滲出型加齢黄斑変性症に伴い発症する脈絡膜新生血管形成の治療薬「**ビスタイン**」の売り上げは、35%増（米国：28%増）の2億2,800万スイスフランとなりました。この継続する堅調な成長は、治療のポテンシャルに対する認知が高まっていること、主要なヨーロッパ市場における保険払い戻し状況の改善、地理的な拡大によるものです。「**ビスタイン**」による治療は、その主要な適応が現在60ヵ国で承認されており、EU、米国、カナダを含む40ヵ国以上で追加の適応症が承認されています。第3四半期末には、オカルト型加齢黄斑変性症への適応が、EUにおいて承認されると期待されます。

移植・免疫領域

ラテンアメリカとアジア太平洋地域における販売活動の成功と、「**ネオーラル**」での治療が順調で状態が安定している患者において、医師が薬剤の切り替えを逡巡していることが

ら、ジェネリックによる「ネオーラル」への攻勢が引き続きゆるやかであったため、上半期の売り上げは現地通貨ベースで2%増（スイスフランベースで4%減）でした。

免疫抑制剤のスタンダードである「**ネオーラル/サンディミュン**」の売り上げは、日本でのマーケットシェアの拡大と米国での第1四半期の堅調な業績が、ある地域における価格抑制と強制的なジェネリックへの切り替えによるマイナス影響を部分的に相殺し、前年上半期レベルに留まりました（0%、米国：1%増）。

「ネオーラル」を補完し、その臨床効果を最適化する目的で開発された「**シムレクト**」は、日本での上市の成功と、大部分の国や地域で、すでにその市場での地位を確立していた競合製品からシェアを奪取したことによって、39%（米国：29%）もの売り上げ増を記録しました。

マチュアプロダクト

主要市場における価格抑制の増強とジェネリックへの切り替えの増加にもかかわらず、選択された主要製品と市場へ投資を集中した結果、2002年度上半期のマチュア製品の売り上げ減少傾向は引き続きスローダウンしました。鎮痛・抗炎症薬「**ボルタレン**」の売り上げ減少傾向は予想通りで（2%減）（COX-2阻害剤カテゴリーの薬剤の影響は限定的）、一方、高血圧症治療薬「**チバセン/チバドレックスグループ**」の売り上げは、コ・プロモーションの成功により14%増（米国：22%増）となりました。

ジェネリック

ジェネリックの売り上げは、特に米国でのビジネスと、新製品の上市と新規市場への進出により、現地通貨ベースで22%増（スイスフランベースで14%増）で12億8,200万スイスフランとなりました。買収は、現地通貨ベースでの売り上げ増の3%に寄与しました。

OTC薬

OTC薬は、北アメリカおよびラテンアメリカでの成長がアジアでの売り上げ減を相殺し、上半期の売り上げを11億6,300万スイスフランに押し上げました。

アニマルヘルス

上半期の売り上げは、現地通貨ベースで10%増（スイスフランベースで4%増）で、5億1,200万スイスフランとなり、買収は成長に5%寄与しました。米国での売り上げは、主として今年1月に買収したワクチン事業に牽引され、大きく成長しました。

畜産動物用ビジネスは細菌感染症の予防と治療のための「**タイアムチン(チアムリン)**」と「**エコノア**」などが牽引し、引き続きダイナミックな成長を達成しました。ワクチンと水産薬のビジネスは、既存の事業と新たに買収した事業が昨年上半期比20%も成長したため、今期も市場を上回る業績を達成しました。

コンパニオンアニマルビジネスでは、ノミ駆除薬「**プログラム**」の売り上げが減少したものの、イヌの糸状虫駆除薬「**インターセプター**」とイヌやネコの心臓病および腎臓病の治療薬

「フォルテコール」の売り上げ増により相殺されました。

医療用栄養食品

医療用栄養食品と健康・機能性食品の売り上げは、現地通貨ベースで2%増（スイスフランベースで2%減）の7億6,000万スイスフランでした。

乳幼児用栄養食品

乳幼児用栄養食品セクターは、引き続き市場成長を上回るペースで推移し、現地通貨ベースで5%増（スイスフランベースで0%増）で、10億9,300万スイスフランを達成しました。これは、小売在庫の幅広い減少にもかかわらず、米国でのガーバーブランドが堅実な業績をあげたことによるものです。

チバビジョン

上半期の売り上げは、市場成長率を上回るコンタクトレンズ事業の好調により、現地通貨ベースで8%増（スイスフランベースで2%増）で8億9,800万スイスフランで、従来型コンタクトレンズおよびレンズケ製品の予測される不振を相殺するものでした。

1日使い捨てのソフトコンタクトレンズの「フォーカス」シリーズが引き続きダイナミックな業績を達成しました。米国では、「フォーカス ナイト&デイ」が成功裏に上市されました。唯一の競合であった連続装用レンズも、ノバルティスの特許を侵害しているという理由から、市場から撤廃する判決が下されました。「フォーカス・ナイト&デイ」は、EUでも治療目的で承認を取得し、また、全世界での需要を満たすために、8月までには生産が倍増される予定です。カラーコンタクトレンズ「フレッシュルック」は、日本での上市后、着実に売り上げを伸ばしています。

眼科用サージカル事業では、折りたたみ可能な後房用眼内レンズ「ピバーテ」がヨーロッパで上市されました。また、革新的な眼科用サージカル製品に関する全世界的なライセンス契約が、プレスビー・コーポレーションとの間で締結されました。

レンズケア事業は市場の縮小傾向の中、引き続き厳しい競合に直面しましたが、米国での第2四半期の業績の好調、日本での「フレッシュルック」関連ケア製品の上市、さらに改良されより簡便になった製品の発売が業績に好影響を与えました。

2002年業績発表予定

10月17日 9ヵ月および第3四半期業績発表

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご確認ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティスグループの2001年度の売り上げは320億スイスフラン（約2兆2,400億円）、研究開発には約42億スイスフラン（約2,940億円）を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約74,000人の社員を擁し、世界140カ国以上で事業を行っています。

詳細は、<http://www.novartis.com> をご覧ください。

年間の事業内容および財務内容の詳細につきましては、2001年アニュアルレポートをご参照ください。

2002年度上半期 医薬品売り上げ上位20製品

製品名	適応	百万	前年比%		
		スイスフラン	億円	スイスフランベース	現地通貨ベース
ディオバン/コディオバン	高血圧症	1 284	1 027	59	69
ネオラル/サンディミュン	移植、慢性関節リウマチ、乾癬	877	702	-5	0
チバセン/ロテンシン	高血圧症	863	690	25	30
ラミシール(グループ)	真菌症	574	459	-8	-3
ボルトレン(グループ)	炎症/疼痛	488	390	-10	-2
サンドスタチン(グループ)	末端肥大症	487	390	20	25
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	423	338	23	30
グリベック	慢性骨髄性白血病	418	334	624	670
ミアカルシック	骨粗鬆症	312	250	-19	-15
テグレートール	てんかん	309	247	-6	2
トップ10製品トータル		6 035	4 828	18	25
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	302	242	n/a	n/a
アレディア(グループ)	悪性腫瘍による骨合併症	300	240	-55	-53
レボネックス /クロザリル	難治性の精神分裂病	256	205	-4	1
ホルモン置換療法シリーズ	ホルモン置換	256	205	11	17
エクセロン	アルツハイマー病	235	188	7	12
ビスダイン	滲出型加齢黄斑変性症	228	182	28	35
フォラジール	ぜんそく	211	169	6	11
トリレプタール	てんかん	190	152	94	105
ファンビル(グループ)	抗ウイルス剤	185	148	11	16
フェマーラ	閉経後乳がん	138	110	49	56
トップ20製品トータル		8 336	6 669	15	22
その他の製品		2 210	1 768	-10	-3
全製品トータル		10 546	8 437	9	15

2001年度の業績は、一部製品の他セクターへの移管の売り上げに基づいて集計し直した。

n/a：前年度の売り上げがない、あるいは比較できないものを示す。

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1スイスフラン = 80円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。